

リソース・グローバル・プロフェッショナル・ジャパン株式会社 [編]
中央経済社

IFRS 経理規程の実務マニュアル

2010年9月1日第1版発行・517ページ/A5版・価格：5,800円（税込6,090円）

本書の特徴

本書は、IFRSの要求事項を経理規程として実用的なレベルに落とし込むための実務を解説しています。書中においては、図表や設例、仕訳例等を加えたIFRS経理規程の用例(モデル規程)に多くの紙面を割くとともに、親会社主導で策定したグループ・ポリシーを海外展開する際の便宜を考慮し、すべてのモデル規程を和文・英文の双方で掲載しています。



第1部 IFRS 経理規程の概要

第1章 IFRS 経理規程の意義

IFRSをめぐる昨今の状況とIFRS経理規程/IFRS経理規程の必要性と要件/IFRS導入プロジェクトと経理規程

第2章 IFRS 経理規程作成の実務

IFRSによる財務報告の検討/IFRS経理規程における考慮事項/IFRS経理規程の展開

第2部 IFRS 経理規程の作成モデル

第1章 IFRS 経理規程—全体像

IFRS 経理規程のスタイル/社内規程における位置づけ/IFRS 経理規程の体系

第2章 IFRS 経理規程—財務報告総論

財務諸表の作成及び表示に関するフレームワーク/財務諸表の表示とキャッシュ・フロー計算書/連結及び個別財務諸表/会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬/中間財務報告

第3章 IFRS 経理規程—主要な会計方針

棚卸資産/金融商品/有形固定資産/リース会計/無形資産/投資不動産/資産の減損/関連会社に対する投資/ジョイント・ベンチャーに対する持分/売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業/従業員給付/借入費用/引当金、偶発負債及び偶発資産/法人所得税/収益/工事契約/株式報酬/外国為替レート変動の影響/企業結合

第4章 IFRS 経理規程—開示関係

1 株当たり利益/後発事象/関連当事者についての開示/セグメント情